

別	表
---	---

(1) 冊子版「航空と文化」No.123号、124号目次

123号(夏季号)	
◇特集 今こそ空旅の魅力再発見 ～Withコロナとエアラインのチャレンジ～	
・ピンチをチャンスに変える 年間100本の遊覧チャーターへの挑戦	
	フジドリームエアラインズ営業部部長 山田 潤
	フジドリームエアラインズチャーター営業グループ 木下美穂
・新たな九州離島観光のカタチ プロペラ機で島から島へホッピング	
	オリエンタルエアブリッジ株式会社代表取締役専務 山村 宗
・地域に寄り添った新しい旅の創出 山形県民チャーター	
	日本航空東北支店地域創生担当リーダー 平子英二
・ウミガメに乗ってハワイ気分 ANA FLYING HONU 遊覧飛行	
	ANA X 株式会社国内旅行事業推進部商品開発チーム 渡辺晋太郎
◇特集 100年前のローマ・東京間飛行 初めて海外から日本に飛来したイタリア人飛行士たち	
・初めて海外から日本に飛来したイタリア人飛行士たち	
	日本航空協会航空遺産継承基金専門委員・航空ジャーナリスト協会理事 柳沢光二
・イタリアに残るタイムカプセル2冊の『記念帖』～ 空に夢を見た東京の少年少女の作品たち～	
	画家・造形作家、ローマ東京ハンガーミュージアム副会長 道原 聡
・「日本航空一期生」を出版して	
	ノンフィクション作家 中丸美繪
・2021青少年航空宇宙絵画国際コンテスト(2021 FAIヤングアーティストコンテスト国内予選)	
	日本航空協会
・一般財団法人日本航空協会 令和2年度事業報告および令和3年度事業計画	
	日本航空協会

(敬称略)

・新年のご挨拶

日本航空協会 会長 篠辺 修

◇特集 Face Up! 顔パス最新事情 ますます便利&安全になる空港や私たちの生活

・航空・空港DXのコア技術～顔認証・生体認証の最新動向～

東北大学特任教授 (客員)、日本電気株式会社 NEC フェロー 今岡 仁

日本電気株式会社 グローバルイノベーション戦略本部 井上 岳

・国際空港のイノベーション～「セルフサービス」から「顔認証」へ～

成田国際空港株式会社 取締役 経営企画部門長 宮本秀晴

・地域DXで加速する新たな地域づくり～顔認証を活用した特別なおもてなし体験～

株式会社南紀白浜エアポート 誘客・地域活性化室 室長 森重良太

・宇宙飛行士挑戦のススメ

宇宙飛行士挑戦エバンジェリスト／〔第5 期JAXA 宇宙飛行士選抜ファイナリスト〕

／JAXA「こうのとりの飛行」フライトディレクタ 内山 崇

・究極のミッションを安全に実現するために

航空自衛隊 第4 航空団 第11 飛行隊 ブルーインパルス隊長 遠渡祐樹

・令和3年度「空の日」 航空関係者表彰式

日本航空協会

(敬称略)

別表2

航空スポーツ団体の活動状況

	(一社) 日本気球連盟 (NKR)	エクスベリメンタル 航空機連盟 (EXAL)	(公社) 日本航空機 操縦士協会 (JAPA)	(公社) 日本滑空協会 (JSA)	日本模型航空連盟 (JMA)	(公社) 日本ハング・パ ラグライダー連盟 (JHP)	(NP0) 日本マイクロ ライト航空連盟 (JML)	日本バリモーター協会 (JPMA)	★スカイダイビング 2006年以降国内統括団体なし
実施種目	熱気球 ガス気球	自作航空機 ・固定翼機 ・ヘリコプター ・ジャイロプレーン ・人力航空機	飛行機 (ジェット・プロペラ) ヘリコプター (ローター・クラフト) 曲技飛行 (エアロパティック)	滑空機 (グライダー) 動力滑空機 (モーター・グライダー)	模型航空機 ・ゴム動力機 ・エンジン機 ・電動機 ・グライダー ・ヘリコプター他 ・模型ロケット ・マルチローター (ドローン)	・ハンググライダー ・パラグライダー (補助動力付を含む)	マイクロライト (超軽量動力機) ・舵面操縦型 ・体重移動操縦型 ・パラシュート型	・バリモーター (RPF1、RPF2) ・パワーワードハン グライダー (RWF1、RWF2) ・フリースタイル ・フリーフライング	
会員数	1,451人 NKR個人、家族、法 人会員として登録され た人数	約100人 EXALへの加盟クラ ブ数からの推定人数	537人 JAPA会員(約 7,112名)のうち自家 用操縦士技能証明所 有者の推定人数	528人 JSA会員のうち個 人会員の合計人数	5,756人 JMAの正会員及び準 会員の合計人数	6,423人 JHP会員数の内訳 ハンググライダー 645人 パラグライダー 5,778人	428人 JML会員登録者数	832人 JPMA会員登録者 数	—
愛好者全体数	約7,000人 全国の気球クラブ数や 大会等の参加者数から の推定人数	約300人 個人所有が主なので機 体数からの推定人数 鳥人間コンテスト出場 者数を含む	約500人 第2種航空身体検査 受検者からの推定人 数(飛行機・回転 翼・滑空機)	約3,000人 全国の現在活動して いる団体、クラブ所 属者からの推定人数	約7,800人 機体の売上からの推定 人数	約15,000人 過去からの更新・新規 登録による推定人数	約630人 操縦者の推定	約4,000～5,000人 過去からの登録数よ り推定人数	—
機体数	376機 上記は有効機体登録 数。気球連盟への累計 機体登録数は1665機	約200機	不明	379機 国土交通省への登録 機数は649機(初級滑 空機含む)	不明 機体個別の登録制度な し	不明 安全性委員会への型式 登録数(累計) ・ハンググライダー 377機 ・パラグライダー 1,484機	約510機 国土交通省への登録機 数 ・舵面操縦型 約340 機 ・体重移動操縦型 約 190機	不明	—
備考(トピックス等)	第5回ジュニア世界選 手権(2021/8/8～14 ポーランド)14カ国43 機参加。日本から5 チームを派遣した。 第37回熱気球日本選手 権2021/11/3～6 佐賀 48機が参加した。連盟公認 大会を開催。いづれ も感染拡大防止ガイド ラインを遵守し実施さ れた。 Pu/h講習会(オンライ ン併用12回)開催は、プロベラ11 機、滑空機14機であっ た。 指導者講習会(オンラ イン2回)、レポート での代用、レポート 機関誌年4回発行。	エクスベリメンタル航空機 飛行機等の製作などの 活動は低調。 人力航空機 2021/5/4静岡県富士川 河口にて相模湾を含む 3角コースにて記録飛 行を行った。結果は飛 行途中で機体破損のた め途中棄権。 2021年鳥人間大会は 7/31に開催された。 出場機は、プロベラ11 機、滑空機14機であっ た。 FAI CIVIA MTG (シート開 閉)開催は、プロベラ11 機、滑空機14機であっ た。 指導者講習会(オンラ イン2回)、レポート での代用、レポート 機関誌年4回発行。	飛行機 活動停滞。 ヘリコプター 活動停滞。 エアロパティック 各地点で個人又はグ ループで活動してい る。 曲技愛好者のML(登録者 30名)を再構築し、情報 交換や活性化を図 った。 国際選手権への日本選 手の参加はなかった。 FAI CIVIA MTG (シート開 閉)開催は、プロベラ11 機、滑空機14機であっ た。 指導者講習会(オンラ イン2回)、レポート での代用、レポート 機関誌年4回発行。	2021年は新型コロナウイルスの 影響が続き各地クラブ の飛行活動自体は低調 であった。 一方、協会の法人化50 周年に当たって、これ を記念した「会員増加 キャンペーン」を展開 した結果、会員数が上 昇傾向に転じた。 アニメ映画「ブルー サーマル」のPR活動へ の協力などの普及・広 報活動にも努めた。	国内選手権 予選16種目の選手権のう ち14種目がコロナの為 開催を見送り、11月下旬 (埼玉)と12月上旬(千葉) にクラブ2種目について 上で開催。 国際選手権 当初予定されていた9各国 における延べ17種目の選 手権のうち、10月以降の 開催は、いずれも、日本 には参加を見送り。(10月 テネリフェ、12月室内機) 航空法改正対応 2022/6に施行予定の法改 正に伴う対応の諸事情。 IAAとの協力による航空局 との情報交換)	カサタラ行'22が 7月31日本選手権(10月英 領・飛行クラブの解散など が発生した。(参考:JML 受託申請数→離着陸場4 減、登録機体19減) 会員数の動向としては、こ 数年実施してきた「会員 動向見える化運動」「会員 機関紙なども」などによ る会員との情報共有化によ り退会の防止を図ったもの が「高齢化」は深刻な問題 であり「次世代の育成」 「連盟PR」などが引き続き 最重要課題となった。 日本選手権大会の開催(隔 年実施)は、コロナ禍の閉 鎖期となり、従来の他 のイベントも中止となり広 報活動が低調となった。	2021 年 重 大 事 故 2 件 (死 亡) 発生。安全装備や飛 行前の機材チェック等の重 要性を再確認した。ヘリコ プターも含め、改めて安全 意識を高め、改めて安全 組織作りを目指す、情報交 換に努めた。 HP以外にYTFMの情報交 換としてを公式LINEを開 設。コロナ禍でイベント の開催が出来なかったが、 LINEで学科講習のお知ら せや安全対策の注意喚起 等を発信した。 タンデム検定と安全講習 会(実技)を千葉県神崎 町で開催した。 日本選手権(千葉県)は コロナで中止となった。		

日本航空協会認定団体の活動状況 (★：現在認定統括団体なし)

別表 3

1) 日本で開催したFAI国際競技会 (FAI Category I、II ※日本選手権を除く)

種 目 (名 称)	選手権者名	開 催 日	場 所	参加数
1. ハング・パラグライディング 2020Summer Meeting	-	2021. 08. 13 ～15 <u>中止</u>	茨城県石岡市	-
2022ハンググライディング 紀の川スカイグランプリ	-	2022. 02. 10 ～13 <u>延期</u>	和歌山県紀の川市	-
2022板敷山スプリングフライト	総合 板垣 直樹 女子 佐野 容子	2022. 03. 17 ～21	茨城県石岡市	-

2) 公認した日本選手権

種 目 (名 称)	選手権者名	開 催 日	場 所	参加数
1. 熱気球	上田 諭	2021. 11. 03 ～06	佐賀県佐賀市	48機
2. 模型航空機 F3B ラジオコントロール・ グライダー	川村 周司	2021. 11. 19 ～21	埼玉県上里町	33名
F3K ラジオコントロール・ ハンドランチグライダー	平本 圭一	2021. 12. 10 ～12	千葉県野田市	21名
3. ハング・パラグライディング パラグライディング日本選手権 2021 in 紀の川 (FAI Category II)	-	2021. 05. 01 ～05 <u>中止</u>	和歌山県紀の川市	-
ハンググライディング クラス1日本選手権 in ASIO (FAI Category II)	総合 不成立 女子 不成立	2021. 10. 07 ～10	茨城県石岡市	50名
2021ハンググライディング クラス5日本選手権 in ASIO (FAI Category II)	総合 板垣 直樹	2021. 11. 20 ～23	茨城県石岡市	14名
パラグライディングアキュラシー 日本選手権 in ASAGIRI (FAI Category II)	総合 和田 浩二 女子 大西 一枝	2021. 11. 27 ～28	静岡県富士宮市	46名 (女子13名)
2022ハンググライディング・ クラス1日本選手権 in ASAGIRI (FAI Category II)	総合 田中 元気 女子 不成立	2022. 01. 08 ～10	静岡県富士宮市	51名 (女子4名)

3) 後援した競技会等

種 目 (名 称)	選手権者名	開 催 日	場 所	参加数
1. 熱気球 2021熱気球ホンダ・グランプリ	総合1位 藤田 雄大			

第1戦 佐久バルーンフェスティル 2021	藤田 雄大	2021. 05. 03 ～05	長野県佐久市 千曲川スポーツ 交流広場	34機
第2戦 一関・平泉バルーン フェスティバル2021	赤間 晋	2021. 10. 15 ～17	岩手県一関市 一関水辺プラザ	32機
第3戦 2021佐賀インターナショナル バルーンフェスタ	上田 諭	2020. 11. 03 ～07	佐賀県佐賀市 嘉瀬川河川敷	68機
第4戦 鈴鹿バルーンフェスティバル2021	-	2021. 10. 31 ～11. 03 <u>中止</u>	三重県鈴鹿市 鈴鹿川河川緑地 鈴鹿サーキット	-
第5戦 栃木県・渡良瀬バルーンレース 2021	富澤 三世	2021. 11. 21 ～23	栃木県栃木市 藤岡渡良瀬運動公園	38機
第46回 おちや風船一揆	-	2021. 02. 19	新潟県小千谷市	競技中止
2. 滑空機（グライダー） 第62回 全日本学生グライダー 競技大会	個人 本田 士恩 （法政大学） 団体 慶應義塾大学	2022. 03. 07 ～12	埼玉県熊谷市 妻沼滑空場	8校 27名
第24回 東京六大学対抗 グライダー競技会	-	2021. 12. 21 ～23 <u>不成立</u>	埼玉県熊谷市 妻沼滑空場	6校 26名

4) 選手を派遣した世界選手権、アジア選手権 等

種 目 (名 称)	選手権者名	開 催 日	場 所	参加国	日本人 成績
1. 熱気球 第5回熱気球ジュニア世界選手権	Roy GOMMER (オランダ)	2021. 08. 08 ～14	Leszno ポーランド	14カ国 43機	5, 10, 16 , 31, 37
2. ハング・パラグライディング 第23回ハンググライダー (クラス1) 世界選手権	-	2021. 07. 18 ～30 <u>延期</u>	Krushevo 北マケドニア	-	-
第11回パラグライディング アキュラシー世界選手権	Seungil AHN (韓国)	2021. 10. 03 ～16	Prilep 北マケドニア	32ヶ国 129名	39, 82, 111 (女子) 22 (団体) 20
第17回パラグライディング 世界選手権	Russell OGDEN (イギリス)	2021. 10. 31 ～11. 13	Tukuman アルゼンチン	34ヶ国 150名	25, 51, 109, 113 , 123, 132 (女子) 5, 12 (団体) 17

別表 4

1. F A I 国際記録 (F A I より認定された記録)

種 目	氏 名	記 録	飛行年月日・飛行場所・認定日
滑空機 500 km往復コース速度 (D0 級/一般)	市川 博一	140.99km/h	2021.05.10 板倉滑空場 2021.08.25

2. 日本記録 (当協会が認定した記録)

該当なし

2) F A I スポーティング・ライセンス (2021年1月1日～12月31日)

種 目	F A I スポーティング・ライセンス発行			有効登録者数 (12月31日現在)
	新規発行	更 新	合 計	
熱 気 球	9	17	26	78
人 力 飛 行 機	1	3	4	4
滑 空 機	0	6	6	46
模 型 航 空 機	0	6	6	94
パラシュージング	0	2	2	5
ハンググライダー (含パラグライダー)	16	34	50	263
超 軽 量 動 力 機	0	0	0	6
飛 行 機	0	1	1	1
そ の 他 (Rotor craft)	0	0	0	0
合 計	26	69	95	497

3) 資格証の発行数 (2021年1月1日～12月31日)

1. 滑空機

種 目	種 目	件 数
1. F A I 国際滑空記章 ※ () 内は、内数 平成22年4月1日より、認定証書 のみ発行し、バッジは申請者の 選択性とした。	銀 章 (※認定証のみ)	3 (0)
	金 章 (※認定証のみ)	1 (0)
	ダイヤモンド距離章	1
	ダイヤモンド高度章	0
	ダイヤモンド目的地章	1
	3ダイヤモンド章	0
	750km章 (※認定証のみ)	0 (0)
	1,000km以上章	0

2. 飛行成績証明書	滞 空	5 時間 (5 H)	9
	距 離	5 0 k m (5 K)	0
	高 度	1, 0 0 0 m (1 M)	7
	距 離	3 0 0 k m (3 K)	0
	高 度	3, 0 0 0 m (3 M)	2
	目的地	3 0 0 k m (3 D)	0
	高 度	5, 0 0 0 m (5 M)	0
	距 離	5 0 0 k m (5 D)	0
	※記章発行（単一科目達成時及 び複数科目の最終項目達成 時）を除く。	距 離 7 5 0 k m (7 D)	0
		距 離 1, 0 0 0 k m (10D)	1
		距 離 1, 5 0 0 k m (15D)	0

2. 模型航空機

種 目	種 目	件 数
1. 技能証 R/C ヘリコプター	A 級	1 4
	B 級	1 5
	C 級	7
	D 級	0
	E 級	0
C/L 飛行機	A 級	1
	B 級	1
	C 級	1
	D 級	2

3. パラシュージング

種 目	種 目	件 数
1. 落下傘降下士技能証	A 技能証	0
	B 技能証	0
	C 技能証（銀）	0
	D 技能証（金）	0
2. 国際パラシュージング技能証	A 技能証	0
	B 技能証	0
	C 技能証	0
	D 技能証	0

別表 5

1) 主催事業

名 称	開 催 日	場 所	参加人数
航空スポーツ教室 スカイ・キッズ・プログラム	2022. 03. 12 ～13 中止	東京都江東区 東京臨海広域防災公園	-
こども模型飛行機教室 (全国-箇所、参加者数-名) *参加者数は子供のみ	2021. 04. 24 ～26	熊本県熊本市 熊本城ホール	72名
	2021. 11. 21	神奈川県鎌倉市 鎌倉青少年館	15名
	2021. 01. 29 中止	福島県いわき市 いわき市小川公民館	-
	2022. 03. 12 ～13 中止	東京都江東区 東京臨海広域防災公園	-

2) 共催事業：主催実行委員会構成団体の一員として参画

名 称	開 催 日	場 所	参加人数
東日本大震災支援熱気球イベント 「空を見上げて」IN 東京	2022. 03. 12 ～13 中止	東京都江東区 東京臨海広域防災公園	-
第26回 スカイスports シンポジウム (一社)日本航空宇宙学会主催	2021. 11. 27	オンライン(配信X-NIHONBASHI)	107名

3) 後援事業

名 称	開 催 日	場 所	備 考
第43回 鳥人間コンテスト 選手権大会2021	2021. 07. 31 ～08. 01	滋賀県彦根市 松原水泳場周辺	滑空機14機 人力プロペラ11機 無観客

4) 協力事業

名 称	開 催 日	場 所	備 考
空まつり2021	2021. 11. 21	千葉県野田市 関宿滑空場	無観客

別表 6

表彰事業（協会賞・FAI賞）詳細

1. 令和3年度 日本航空協会賞 受賞者一覧

(1) 航空亀齢賞

＜長年にわたり航空の発展に尽力され、且つ数え年90歳になられた方に長寿を祝福する賞＞

さかき たつろう 榊 達朗氏 (89歳)	各種国産航空機の開発と国際的な共同開発および生産に尽力され、我が国の航空知識の普及と技術の向上に大きく貢献されました。 〔元川崎重工業（株）取締役 航空機事業本部 副事業本部長 推薦：（公社）日本航空技術協会〕
--	--

(2) 航空文化賞

＜航空に関する功績が顕著で、航空界が挙がって表敬を惜しまない者に贈る賞。本賞は、当協会が贈る諸賞のうち、最高位に位置する賞＞
本年度は該当者なし

(3) 航空功績賞

＜航空に関する文化、科学技術および事業等の発展に著しく寄与された方またはグループに贈る賞＞

おおまえ すぐる 大前 傑氏 (77歳)	航空運送事業において安全を最優先する企業文化の醸成・構築に尽力され、我が国の航空業界における安全文化の確立に多大な貢献をされました。 〔元全日本空輸（株）代表取締役副社長執行役員 推薦：全日本空輸（株）〕
--	---

(4) 航空特別賞

＜航空の発展、思想の普及啓蒙に顕著な功績があった者またはグループに贈る賞＞

JAXA災害対応航空技術チーム (代表：奥野善則氏)	災害救援航空機情報共有ネットワーク（D-NET）システムの研究開発および実運用への協力により 大規模災害時の救援活動ならびに国家的イベントの警備における航空機の効率的で安全な活用に多大な貢献をされました。 〔推薦：（国研）宇宙航空研究開発機構〕
JAXAはやぶさ2プロジェクトチーム (代表：津田雄一氏)	「はやぶさ」の技術を継承発展させ、10項目に上る工学上の世界初を含む小天体からのサンプルリターンを成し遂げてその技術を完成するとともに、宇宙開発の普及啓蒙において多大な貢献をされました。 〔推薦：（国研）宇宙航空研究開発機構 （一社）日本航空宇宙学会〕

(5) 空の夢賞

＜航空、宇宙に対する夢や希望を与え、または明るい話題を提供するなどユニークな貢献をした者またはグループに贈る賞＞

テトラ・アビエーション株式会社 teTraプロジェクトチーム (代表：中井 佑)	国際eVTOL開発コンペGoFlyにおいて唯一の受賞チームとなるなど「空飛ぶクルマ」を研究開発する大学発のスタートアップとして次世代の航空の可能性を示し、多くの人びとに夢と希望をあたえました。〔推薦：鈴木真二表彰委員〕
---	--

株式会社 SkyDrive (代表：福澤 知浩)	社会実装に向けた公開有人飛行試験を日本で初めて成功させるなど「空飛ぶクルマ」を研究開発するスタートアップとして次世代の航空の可能性を示し、多くの人びとに夢と希望をあたえました。 〔推薦：表彰委員会事務局〕
株式会社Synspective 衛星システム開発部 (代表：新井 元行)	スタートアップとして世界トップレベルの合成開口レーダー(SAR)を搭載した小型衛星の開発により、民間の小型SAR衛星(100kg級)では日本初となる高精度の地球観測画像の取得に成功し、宇宙技術及びそのビジネスでの実利用の可能性を大きく広げるなど、多くの人々に夢と希望をあたえました。 〔推薦：(国研)宇宙航空研究開発機構〕
株式会社QPS研究所 QPS-SAR イザナミプロジェクトチーム (代表：大西 俊輔)	九州に宇宙産業を創出するべく地場のパートナー企業と協力して開発した100kg級小型SAR衛星において、分解能70cmという日本最高精細の地球観測画像取得に成功し宇宙技術及びそのビジネスでの実利用の可能性を大きく広げるなど、多くの人々に夢と希望をあたえました。 〔推薦：(国研)宇宙航空研究開発機構〕

(6) 航空スポーツ賞

＜航空スポーツのFAI世界記録を樹立し、又は同世界選手権者となった個人又はグループに贈る賞＞
該当者なし

※年齢は受賞時年齢

2. 国際航空連盟 (FAI) 賞伝達

(1) ポール ティサンディエ ディプロマ (The Paul Tissandier Diploma)

＜団体組織等で指導的役割を果たし、航空スポーツの発展に顕著な業績のあった個人に贈る賞＞

こうが たいじゅ 甲賀 大樹 氏 (80歳)	1960年代、国内初のディーゼルエンジン・ウインチの製作や、H23B2、三田式Ⅲ型改1等の開発に貢献した。 2005年に公益社団法人日本滑空協会の常務理事、事務局長に就任し、グライダー統括団体としての体制構築や運営の効率化と財務の健全化、安全対策活動に尽力し、また2008年よりFAI国際グライディング委員会の日本代表委員も務める等、日本グライダー界に貢献した。 推薦：(公社)日本滑空協会
------------------------------	---

(2) FAI エア・スポーツ・メダル (The FAI Air Sports Medal)

＜航空スポーツに関連した委員会業務、競技会運営、若年層の教育訓練等に顕著な功績や貢献があった個人又は団体に贈る賞＞

かみしま かおる 神島 馨 氏 (68歳)	2000年よりワタラセバルーンクラブ代表や一般社団法人栃木熱気球クラブ代表理事を務め、渡良瀬遊水地のフライトエリアの飛行環境維持に貢献した。 2010年より渡良瀬バルーンレース実行委員長を務める。 特に2020年コロナ禍の中、関東初開催となった日本選手権では、その開催に貢献した。1998年より(一社)日本気球連盟インストラクターとして後進の育成にも貢献した。 推薦：(一社)日本気球連盟
-----------------------------	---

じんのうち やすすけ 陣内 靖介氏 (80歳)	1989年より九州工業大学航空部部長や公益社団法人日本学生航空連盟の要職を務める。 2011年から九州グライダースポーツ連盟理事長を務め、九州地域のグライダースポーツの発展に貢献した。 また、国内の航空宇宙関係団体の要職を歴任し、航空宇宙工学の発展と、産業の活性化にも貢献した。 推薦：(公社) 日本滑空協会
---	--

※ 年齢は受賞時年齢